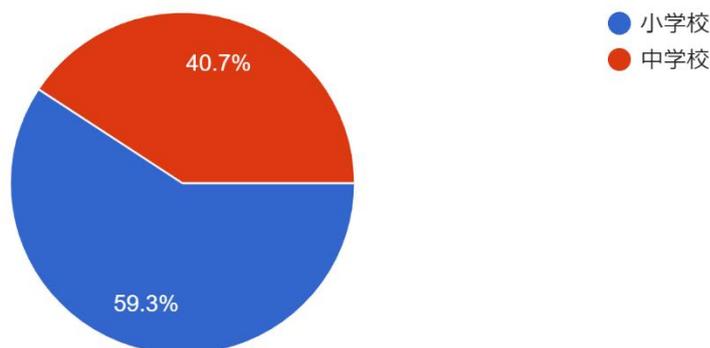


# 「今度ばかりはだまっていられない!!集会」

## ハイブリット授業アンケート 2021,9,22

### 1. 校種などをおしえてください

81件の回答



小学校 48 中学校 33

### 2. ハイブリット授業は効果があると思いますか。

81件の回答



・すごく思う 0 ・そう思う 7 ・あまり思わない 36 ・思わない 26 ・分からない 9

・その他

「出席しないことが大きく不利にならない」という点では効果はある。学習的な学習面での効果はない。  
児童による

対面での授業が一番だと思います。このコロナ禍で登校できない児童に対しては多少の効果はあると思う。  
しかし、学習面にしんどいと感じる児童ほど効果はなくなっていくと感じる。

### 3. ハイブリッド授業で、困っていること、問題や課題だと思うことを聞かせてください。74 件の回答

- 1, 支援でもハイブリットをおこなったが、学校に来ている子の方が、全く集中できず、子どもに申し訳ない時間となった。
- 2, 画面の向こう側まで意識できない
- 3, 今まで対面の子も達のための授業を作ってきたのに、いきなりオンラインと対面の双方向に対応する授業を毎時間作れと言われても無理がある。そして、普通の業務でも多くてパンクしていて、減らして欲しいと嘆いているのに、オンラインの子にも気を回す余裕なんてあるはずがない。
- 4, 授業が進まない。目の前の子を置き去りにしてしまう。
- 5, オンラインのことのやりとり。スライドや黒板が見えなかったり課題があると思う。
- 6, 習熟度が振り返りでしかわからない。その振り返りも文章のコピペで出したつもりになっているかを実際に授業の様子を見ることができないので、わからないと言えない子どもたちには辛い状況なのではと思う。
- 7, スキルが追いつきません。不安やストレスとなり、精神的にしんどいのが常態化しています。教室とオンラインのワンオペはまだ慣れません。
- 8, ①タブレット操作で時間が取られ、学校来ている児童に負担がきている。②常に監視されていて、授業中ミスが多くなってしまった。それを保護者にも見られていると思うと、さらに精神的にしんどくなる。
- 9, 実際に教室に来ている子どもたちも大事にしなくてはいけないので、撮影用のタブレットをななめから撮っている。オンラインで授業を受けている子どもたちには、なかなか黒板を見やすくはなっていないと思う。音楽の授業を配信したが、オンラインの子どもたちには、音声はとぎれとぎれだったらしく、なにをしているかわからない状態だったらしい。登校している子どもたちと、同等の学びを保証するなんて、ゆめ物語でしかない。
- 10, meet の生徒と教室の生徒、どちらにも声をかけながらの授業は、時間もかかり、予定通りの授業ができない。meet と教室の生徒の出欠確認にとても時間がかかる。画面を動かして、板書を見せるのが手間。
- 11, 児童だけでは、集中力も持たず、十分な学力補償はできない。ハイブリッドでは、オンラインで学ぶ児童も教室で学ぶ児童も中途半端な感じがする。
- 12, 普段、45 分で計画している授業が 45 分で終わらない。双方向を考えると、いつもより時間がかかる。オンラインの子の様子が分かりにくい。(個人差あり)

13, 英語専科の先生に答えてもらいました。

- ①児童に作業をさせるとき、全体に指示を出すのが、オンラインの児童には、再度、教室の児童よりも丁寧に説明しないと伝わらないことがある。
- ②具体物(ポスターとか)を作成する課題のとき、教師が用意したレイアウトの絵などの例を見せて、家にあるもので作成を...となってしまうから、これでいいものか?と悩む。
- ③話す練習のペアワークが出来ない。4-5人オンラインのときは、教室の児童のトークを聞くだけになってしまう。
- ④デジタル教科書の画面共有ができるが、画面の切り替えに手間、時間がかかり中断してしまうこともある。子どもたちの集中が切れやすくなってしまう。授業のテンポも悪くなる。

14, 小学1年担任です。

- ①オンライン授業では、子どもたちが映り込まないように、また、普段から録音録画スクショ禁止など守らせているのに、授業中に校長自ら画面の前に来て、児童に手を振っている。ほぼ毎日です。
- ②その校長が、9月10日(金)の授業中に、タブレットに映っている児童の顔の前にカメラを向けてシャッターボタンを押しました。押してないかもだけど、デジカメの画面いっぱいの子どもの顔が写っているのは見ました。そのオンライン画面の児童(その日のオンラインは1人だけです)は、その直後戸惑った顔をしていました。その場で校長に注意はできませんでした。子どもたちの前ということと、上司をどう注意すればいいか戸惑ったので…。でも、おかしなことだし、あってはならないし、気持ち悪いので、学年主任と教頭に相談しました。教頭から言ってもらいましたが、手を振らないよう気をつけると言っていたそうです。カメラのことはきっと詰めてないでしょう。
- ③小学1年生なので、隣に保護者がいることが多いです。1人ではなかなか操作できない子どももいるので、全員がオンラインは難しいのではと思います。
- ④そして隣に保護者がいることにより、毎日参観のような感じがして心的ストレスが強いです。
- ⑤保護者からは、課題について、ちゃんと伝わってなかったことを後で報告されたり、一緒に授業を受けているような感じでしたとか、感想もったりしています。

15, 最大限工夫しているつもりですが、結局はオンラインの生徒をほったらかしにしているのが現状です。

16, 授業は、その場にいる子どもたち優先になるので、オンラインの子どもたちまで意識が向けられないときがあり(理科の実験など)、ほったらかしになってしまう。自主的に学習する子どもはまだいいが、「何をしたらいいですか?」と聞かれても、オンライン用の課題を別に用意するゆとりがない。

17, 教科性もあると思いますが、英語の授業はコミュニケーション活動がとてもやりにくいです。双方向のやりとりが大切かつ、時差が出てしまうところに課題を感じます。

18, 準備が大変。オンラインで受ける子にはiPadは画面が小さい。十分にオンライン授業を行うためには児童も教師も2画面は必要。教材を準備しようにもその他の業務もあり時間がとれない。児童同士の話し合いが難しい(キャンプのことを決めるなど)。教室にも教師が二人いる必要がある。

19, 教室にいる子中心だと、オンラインの向こう側の子がお客さん状態になるし、授業すすめながらオンラインの子を気にかけるのはなかなか至難の業です。TTなどで、だれかオンライン担当がいれば別ですが。でも英語の教科性で、コミュニケーションを重視した授業になると、この形態ではできません!

20, 顔を見せてくれない子どもが。どんな様子なのかがわからない。教室とオンラインの、分断が起こる。オンラインで1日の、中で出たり入ったりする児童がいる。クラスの児童の集中が途切れる。来たり来なかったりする児童がいるので、誰がどこまでの課題をしたのかの把握が難しい。

21, 画面が止まる、接続に時間がかかる

22, 教室にいる児童の発言が、オンラインで参加している子に聞こえにくい。毎回発表する児童へのところへ持って行くのが手間になる。

できない生徒はオンラインでは到底できない。毎回の準備、教室とオンラインの両方のことを気にして授業をする余裕はない。班活動ができない班が出てきている。

23, 人員配置が必要。教科担1人では対応しきれない。TTの場合も、1人がかかりきりになるので、出席している生徒のケアが行き届かない。

24, オンラインで受けている子が反応しない場合、授業内容がどこまで理解できているのか確認ができない時がある。また毎時間の課題を提出しないことがあると、保護者の協力なしでは厳しいなど感じる。

25, 配信に手や時間を取られて登校して授業を受けている生徒が放ったらかしになる時間ができる。そうなると「せっかく学校に来て授業を受けているのに…」と感じて学校で授業を受ける意義や必要性が失われないか心配

26, 三脚が各クラスに配布されていないので、非常に不便。マイクオフにせずに急に音声が静かな授業中に響く。保護者が、近くにいることを想定しながら、配信しなければならない。配信しても、板書は見にくく、学校での授業とは質が落ちる。充電がもたない。配信用タブレットが邪魔で、教室で受けている児童が、黒板が見にくくなっている。

27, 生徒に顔出しするようお願いしているが、強制できないのでビデオカメラをオフにしている生徒が多い。何をしているか分かりにくい。接続するのに時間がかかる。授業が始まっているのに目の前の生徒をおいて準備しなければならないならない。

28, 実技教科で家で制作できるものではない。作品が学校にある。持ち帰らせるために登校させられない。出欠確認で時間の浪費。オンライン希望なのに入って来ない。入って来ても反応無しで制作しているかどうかわからない。いったいどこがハイブリッドなのか、こんなに燃費の悪いハイブリッドはあり得ない。そもそもハイブリッド授業という言葉が簡単に使い過ぎ(このアンケートも含めて)。もっと最初の段階で強く否定するアピールをしないと、マスコミに良いように取り上げられたらどうしようもない。

29, オンラインを意識しながら授業をしないといけない。安易にオンラインを希望し不登校が促進される例もある。オンラインで授業を受けている子の保障をしないと、無意識にそんな気持ちになるので、学校に来て授業を受けてる子にしわ寄せがいかないだろうか。

30, どうしてもオンラインと教室とでは差が出てしまう 教室の生徒の様子は観れるが、課題の取り組みへの配慮が十分にできない 余裕ない さらに処理作業が増えてしまう

31, 授業をしている子どもたちを待たせて、設定や、資料を送る作業などが必要になり、授業が止まる。目の前の子どもが落ち着かなくなる。休み時間にも、板書を写真に撮り送るなど、細かい作業が必要。目の前の子どもと同じレベルの学習は保証できない。オンラインを真面目に受けない、受けられない子がいる。特に支援の児童は全く理解できていない様子。オンラインでは、保護者が見ていることがあるので、精神的負担。

32, 授業がスムーズに進行しない(オンライン参加の児童への声かけ、ロイロノートでの資料の送付、他の情報機器の操作などで授業が中断する)。子ども同士のやりとりをさせるのが難しい。成果物の作成などに個別の丁寧な対応が必要になる。テストが実施できない。

・本当のコロナ不安かどうか分からないオンライン参加の子がいる。土日には、習い事のサッカーで他市まで出向き、他校の様々な選手と交流している子もいるが、コロナ不安の出席停止と認めてよいのか。

・学力がしんどい子は、対面授業を見ての学習はかなりしんどい。

・オンライン参加でさせた課題を送って来ない子がいる。

・オンラインが長引いた子は、学校でしかできない図工、家庭科、テストなどの課題が溜まり、久々に登校した時に、こちらが個別についてあげないといけない。

・自分のクラスでは一時期、10名以上のオンライン参加があったが、給食当番がほとんどいない日があってやりくりが大変だった。

・対面授業で使う資料、教材などを、個別にロイロノートで送ってあげないといけない。その日によりオンライン参加のメンバーも変わることもありるので、毎朝チェックすることや、時間割りを連絡する手間が、朝に取られることが非常に煩わしい。

・対面授業をメインでやっていたとしても、どこかでオンラインで参加している子用の指示も発生する。その際、対面の子に関係のない指示をしているため、授業に変な間が生まれる。

・アナログでさせていた宿題を久々に登校した日の朝にドバツと一気に提出されるので、内容のチェックや丸付けがの仕事がとても非効率。

・対面授業に加えて、オンライン参加用のことも考え、準備、その後の処理が発生するため、仕事量は確実に増えた。業務改善や働き方改革から、確実に遠ざかった。

33, ただでさえ、毎日ばたばたの中、ハイブリッド授業のために、連絡を入れたりする時の確保がむずかしい。

日々、いろいろなことがある中で、授業だけを進めているわけではなく、その中で過ごすなかで、学習以外の生活があり、画面からでは、伝わらない部分が多く、誤解が生じる可能性も考えられる。

34, 単純にブルシットジョブ(クソどうでもいい仕事)が急増した。

35, 一斉指導の際や話し合い活動の際オンラインの児童の対応が困ります。

36, 対面に来ている人と同等の扱いをするということに困っています。

37, 教室の生徒がリモートの生徒にいきなり暴言を吐いたりして、余分な生徒指導が増えた。

38, プリントや課題を印刷できない。

39, 顔を隠しているなので、授業を受けいるか分からない。

40, 教室、オンラインどちらも中途半端になすこと

41, 負担が大きい。

42, オンラインの生徒の学力の保証ができない点

43, 評価の公平性の担保

44, 授業を見せているだけで双方向にはなりにくい

45, 機器の扱いに時間がかかり授業のテンポが止まってしまう。子どもたちが教室にいないため活気がない。

46, ハイブリッドなどとカッコイイ事は言ってますが、教室の授業を見せているだけで、本当に見ているかどうかあやしいです。

47, 1人でやらないといけないので、課題づくりや録画などがとても大変です。さらに、使い方がわからなくてプレッシャーです。

48, まず図工、体育の実技の指導が厳しい。休んだ子が後日テストを受ける、作品をつくと となると担任の負担が大きくなる、現在もっているタブレットは2年目のため充電の切れがはやいため、授業中充電が切れて配信ができなくなるなどの問題が出てくる。

49, 普段通りに授業が進められないこと。学力保証はできない。

50, コミュニケーション不足になっていると思う。特に、もともとコミュニケーションが苦手な子どもたちに、細やかな目配り声かけが難しくなっているように感じます。

51, 対面の子ともオンラインの子とも同時に相手をするなんてのは、教師が教室に複数いないと難しい。人も機材も到底足りていない状況では無理。

52, 登校してきている児童とオンラインの児童の両方に気を遣わなければならないこと。

53, ・授業の準備に時間がかかる点 ・親の支援が得られにくい児童の学びの保障 ・長時間タブレットに触る点 ・学校に来ることが全てではないと思うが、不登校が増えてきそうな点

54, 自分の動画が配信されること自体がイヤで仕方ない

55, 教室とオンライン、同時にするのは両方を大切にできない。テレビや教師用タブレットが使いにくくなる。今日の予定の送信など仕事が増える。本当にコロナ不安ではなく、なんとなく休む子が増え、クラスが成り立たない。練習も十分にできず運動会などできる状況じゃない。

56, 通常の時間設定より時間、準備、手間がかかる。評価がしにくい。

57, どちらもいいとこをとれないので、一番効果の薄い授業になる

58, オンラインと目の前の児童を同時に対応するので、指導に今までの倍の時間がかかった。オンラインでの不具合の対応に、目の前の児童を待たせる場面が何度もあった。

59, ・授業者1人でクラスの指導、黒板の板書又はスライド操作と併せて配信用タブレット操作ができるわけがない。  
・そもそも、配信するにあたって、機器の整備すらされていないのに、タブレットだけ与えられてその他は授業者に丸投げ。ふざけていますね。

・Apple TVも接続困難な教室があり、有線のアダプタも純正でないものはスピーカー接続できない。真面目な人ほど、個人負担で機器を揃え授業成立に向けてやってしまう。

・経験年数の少ない人は、これが当たり前で進んでいくので、違和感すら感じない。当然、声になんか出さない。

60, 教室とオンラインの児童に語りかけるのは1人では無理。

61, 教室の子どもとオンラインの子ども、どちらにも同レベルの授業を行うこと

62, どちらつかずで、どちらも中途半端

63, こどものため、教室の生徒もオンラインの生徒も大事に日々悪戦苦闘しながら、やっています。ハイブリッドが悪いとは思いません。ただ、現場へのおりてきかたや、市教委の言葉だけの一丸となり取り組むという文章に腹がたちました。私の中学に一度でも委員会の人が様子をみにきたり、こちらの気持ちを聞いてくれる場などがあれば、こちらの気持ちも変わります。今のままでは、現場の気持ちが伝わらず、寄り添っても、もらえていない気がします。市教委の人ももともと現場にいた人なのに、一緒に働いてきた人なのに残念です。立場が変われば難しいこともあるとは思いますが、もう少し、協力しあえる関係にならないと枚方の教育はダメだと思います。

64, 接続などのトラブル対応 オンラインと教室にいる児童への指導が中途半端に感じている。学習が身についているか不安

65, オンライン児童向けにカメラ位置を変え忘れたり、挙手を見逃したり。マイクオンや音声不十分、機材不調などで待ち時間多し。教室児童もオンライン児童も「学びが止まっている」場面があります。

66, 自閉症などの支援学級在籍児童への学びの保障にはならない。

67, 目の前の子どもたちに授業をしながら、オンラインの対応もするのは、一人では十分にはできません。しわ寄せは子どもにいつています。

68, オンライン対応によって、学校来て授業を受けている子どもの対応が遅れるし、逆に運動会練習や手元の操作(教具を動かす等)等には、オンラインで同じ内容を教えることに限界を感じる。

69, 理由をはっきりと伝えずにただただオンライン受けますという児童が何人もいます。中には、学校行くより楽だからとか、少しさぼりたい気持ちで選んでいる児童もいます。クラス作りがなかなかスムーズにいかず、ともすればクラスが分断されたり、まとまりにくくなる。委員会活動や当番活動も穴がたくさん空いていて、登校している児童でずっと補っている。

70, 担任の仕事も倍増した。

71, 今のところない

72, 家庭が描いているハイブリッド型授業と現場の現実にギャップがありすぎる。そもそもどちらも同じ学習をするなんて、1人の教師じゃ不可能。ICTに長けてる人とそうじゃない人で差がでる。でも、家庭はハイレベルを求めている。そのような研修にあたる時間がそもそもない。問題や課題だらけです。

#### 4. ハイブリッド授業で、効果や可能性があると感じている点を聞かせてください。68件の回答

1, ない

2, ありません。

3, 特になし。

4, コロナ不安の子も授業に参加ができる

5, 教室に入りづらい児童にとっては、クラスと繋がる一つ的手段として重宝している。

6, 教室の子どもを写しても良いという条件と、教室に教師が2,3人とiPadが4台ほどあり、勤務時間内にハイブリッド授業について勉強できる時間があれば、効果的なハイブリッド授業が出来るかもしれない。

7, 不登校の子も授業に参加できること

8, オンライン側は自分から発信しないと何も始まらないので、自分から発言し始める訓練にはなると考えられる

9, コロナの不安から子どもが解放されること。

10, 休校など、子どもが全員いない時は、オンラインも効果はあると思うが、ハイブリッドは効果より、デメリットの方が多すぎる。

11, 今のところ、考えつかない。

12, 授業を進めるという点では、有効

13, どんな授業をしているかの雰囲気は分かると思う。

14, 教室で落ち着かない児童の中には、オンラインで親のそばだと、教室よりいい態度で授業を受けている様子の児童もいた。ただ、土曜日に一度お試のような感じでされたので、平日オンラインをされる家庭ではない。小学校1年生は1人でオンラインで授業をうけるのは難しいので、早くオンライン終わりたいです。

15, 不登校生徒にはいい取り組みだと思う。

16, 教室での一斉授業がしんどい子どもにとっては、授業に参加するチャンスとなっています。

17, 今のところ効果はとくに感じません。

18, 不登校の子がチラッと学校の様子を覗くことができる。

19, 不登校の児童への対応に活かせる。配布物を電子化することで負担軽減ができる。

20, コロナ不安とは関係ないですが、不登校で引きこもってた子が少し授業を除いてくれたりとかもあるので、その点は多様な学び方とは思いますが

21, 不登校の児童が参加できているクラスがある。

22, 配信授業を今後、授業時数にカウントすることにより様々な事象【インフルエンザなど】にも対応できる

23, コロナ不安で欠席している子だけではなく、不登校や家庭の事情で欠席している児童への支援にもつながると思う。

24, 何もないよりは良い。できる生徒はオンラインでもできる。

25, タブレットを使って、教材等のやりとりができるという点では、出席している生徒もオンラインの生徒も平等に取り組むことができる。やりとりが容易。

26, コロナ不安の子が授業を自宅で受けることはできる。ただ、受け身の授業になってしまうと小学生は難しいと思う。

27, コロナウイルスに関係なく学校に来れていない今までの不登校生徒が学校の授業を受けようと思う言いきっかけにはなったと思う

28, 不登校の生徒にとってはよかったと思う。

29, 制限の中での可能性なんて探ればいくらでも出てくるでしょう。対面授業が本当にダメならオンラインで仕方ない。本気で感染防止するなら学校が主体で。選べるなんてあり得ない。

30, 一斉休校の時の練習にはなったが...

- 31, 不登校の子が、学校の様子を見られる。
- 32, いっそのことオンラインで全員ができた方がやりやすいのでは
- 33, 不登校(気味)の児童も参加できる場面がある。
- 34, 対面授業を見て自分なりに参加するだけなら、家族がコロナになって登校できない子の学力保障にはなるかもしれない。
- 35, 本当にコロナになって、長期間やすまざるを得ない場合や、欠席しなければならない時には、保障してあげることが必要。
- 36, コロナ禍や有事の際は、役に立つと思います。
- 37, 不登校の子などが授業を、他の子達と近い形で受けることができる
- 38, 教材に興味を持ち、希望すれば、自宅に教材を届けますよ、と言っていますが、今のところ、制作は学校でしたいという生徒がほぼ全てです。授業の雰囲気を感じとることは出来るかな。
- 39, 自宅でも受けられる。
- 40, 不登校生徒には学校やクラスを知る良いきっかけになるかも。
- 41, 悪い効果しかありません
- 42, リモートでも授業を受けることができる。
- 43, 特になし
- 44, 不登校生徒や起立性調節障害等、体調不良で、学びたいのに学べない生徒には効果がある。
- 45, 全く学校へ来られない児童にはいいかも
- 46, 普段から不登校気味の児童が、何もしないのを回避できただけ。
- 47, あまり効果があるとは思えないです。負担の方が大きい
- 48, 不登校生徒の学校へのきっかけとしては可能性があるかも。また、このコロナ禍で家庭待機せざる負えない子どもにとっては、学校とのつながりを感じられるかもしれません。
- 49, オンライン対応専用の教員と支援員が学年ごとなどに配置されれば色々なことができる可能性は拡がると思う  
不登校の児童にとっては学校とつながりやすいのかもしれない。

50, 密は避けられていると思う

51, 不登校児童や不登校しぶりの児童にはクラスと繋がれる効果はあると感じるが、これは一時的な効果になると思う。

52, 不登校の子が入れる

53, ない。あるとすれば、登校できない生徒への情報提供ぐらいじゃないでしょうか？

54, 教室の音が気になる児童は静かな環境で学習できて、学習効果が上がっている。

55, やるなら少人数のオンラインしかない、わかったこと

56, 不安を感じている生徒や不登校気味の生徒にとっては、効果もあり、特に本校では不登校生徒に改善がみられた。

57, 不登校児童が学校の学習に取り組める。

58, 登校しなくても在宅でなら安心して毎回授業を受けている児童がいます。そういう児童のための環境としては学びの保障となっていると思います。遠隔地の児童や外国人などとやりとりするのなら大いに活用できます。とはいえライブの臨場感には叶いませんが...

59, 不登校など、学校に来られない児童も授業を受けられる。何らかの条件を満たせば出席にカウントしても良いのでは？

60, コロナへの不安が大きい子にとっては、安心できる選択肢があること。

61, 休んだとしても、学校でどんなことをしているのかリアルタイムで知ること(イメージすること)ができる。

62, 学校をやむを得ず欠席する場合、このような形で連絡をとったり補ったりする方法もあるのだと、学校側も児童側も知れた。

63, 不登校児童や注意欠陥がある児童には一定の効果があるかと思われる。

64, 本当にコロナ不安やコロナ関連の児童とは多少は顔を見たりと繋がってられる。でも、正直そうじゃない児童もいて、逆に不登校を増やしている。

## 5. ハイブリッド授業でどのような実践や工夫をしていますか。(学校での取り組みも含む) 52 件の回答

- 1, ロイロノートと併用して、課題の説明(レジュメ)を見ておいてもらっておくと、話が入りやすかった。
- 2, オンラインで参加している児童は黒板の全体が入らず、困っている。工夫しようにもハード面で無理がある。
- 3, ロイロノートに「オンライン」という授業を作り、授業で使うプリントなどをオンラインの子に送ったり、そこで提出してもらったりしている。
- 4, ハイブリッドに限って、工夫などやる余裕はない。日々の授業や子ども達への関わりを大切にすることのみ。
- 5, 目の前の子どもたちに授業しながら、画面にむかつて、問いかけたりしているが、音楽の授業では、オンラインの子どものマイクは原則切っている。マイクを入れられると、音声以外の音が入るので。クラスでの、話し合いのときは少人数だからか、けっこうオンラインの子どもと教室の班になった子どもと、話し合いができるという先生もいます。
- 6, 使うプリントを全て、クラスルームに投稿している。
- 7, 教科書を大きく拡大して、オンラインの児童にも見やすくしている。ロイロノートで、児童どうしの考えを共有して、学びを深めるようにしている。
- 8, 普段の授業同様に、発表などもさせている。授業終わりの板書を毎時間必ず送るようにしている。(ロイロでのやりとり) 毎日、1日の授業の提出フォルダを作り授業後に提出させてチェックしている。プリント学習でも写真を送ってロイロ上で取り組むように指導している。(ミートとロイロの二画面)
- 8, 英語専科の先生に答えてもらいました。オンライン授業をやることに決まってから、どうすれば、オンライン希望の児童がよりよく授業が受けられるか日々勉強している。外部系 pc からは、画面共有ができるとか学んで実際にやってみている。と、大変頑張ってもらいました。
- 9, 音楽の譜面台にタブレットを載せるといい角度で映すことができている。
- 10, 教室にいても家にいても、課題・提出物などの条件が変わらないようにして、評価ができるようにしています。
- 11, オンラインの子も少しでも活動に参加できるようアクティビティの工夫をしています。
- 12, 板書をへらしテレビをメインにして授業を行っている。テレビ画面を画面共有することでオンラインの児童にも同じ
- 13, 画面を見せながら授業を行うことができる。提出物はほぼ全てロイロノートを使っている。
- 14, 課題をオンラインでだしたり、共有で意見を書き込めるようにしたり、資料は PDF で前もって送っています。
- 15, ハイブリッドでも、児童と児童が交流できるような授業の内容を心がけている。対話する値打ちがある授業展開を目指している。
- 16, オンラインの子たちともやり取りを楽しむ

- 17, ・教室で参加している児童とオンラインで参加している児童への指示が同じなるように指示内容や発問を工夫する。
- ・オンラインで参加する児童向けに、事前に予定を提示して、簡単な指示を示しておく。
- 18, 授業の合間に声かけをしたり、見やすく動かしたりしている。
- 19, ロイロノート(小学校)や google classroom での教材のやりとりや添削。
- 20, 基本的にロイロノートを活用している。
- 22, 黒板が見えるようにカメラの向きをその都度変えています
- 23, 座学で行う授業を中心に配信している。実技などを伴う授業は基本配信しない。
- 24, 指名して答えさせる。
- 25, 制作できなくても家でできる別課題を。
- 26, 黒板を映す、宿題プリントなどはロイロノートで送るなど。
- 27, ロイロノートと併用しています。授業ノートを教材研究がてら作って、ワークシートとしても使えるようにしています。
- 29, 外国語の授業に限って言えば、外部系 PC でオンライン接続をおこない、PC に入っているデジタル教科書を画面共有の機能でオンライン児童にも教室と同様のクオリティで見せている。また、ロイロノートも用いて、ワークシートや振り返りシートなどを送付して、同じように課題に取り組めるようにしている。
- 30, 基本、黒板だけを写す授業です。
- 31, グーグルクラスルームを活用した意見交流の場の設定。
- 32, Bluetooth イヤフォンを繋げて、タブレットから離れても声が聞こえるように取り組んでいます。
- 33, 余裕があれば、クラスの制作の様子を写したり、家で出来ることを指示したり。
- 34, 班の生徒のみの交流
- 35, オンラインの子どもらにも声かけをしたり、発言を促し授業参加をさせようとしている
- 36, ブレイクアウトルームなどの少人数体制。

37, なし。

38, あらかじめ授業の前に課題や答えを classroom にあげる時間をセットしている。

39, 見やすいように、お金をかけた。

40, 音楽では、課題を出しています

41, オンラインのため、いかに実際には教室にいない児童という児童の繋がりを深め合えるかを日々行なっている。

42, オンライン上の子どもたちにも挙手をしてもらい考えや成果物を伝え合うことで授業は盛り上がると思う。

43, まめに声がけをする。

44, 特になし。

45, 今は、meet での会話しか出来ていない。zoom を使った取り組みをしている方もいると聞いたので、やってみたい。

46, オンラインの児童にも手を挙げさせたり、参加させたりして、傍観者にならないようにしている。  
どちらも精一杯関わるだけ

47, オンラインでも分かりやすいようにプリントを作成した。オンライン児童への指示だとわかるように[○コースの人は～]と明確に伝えた。

48, 自腹切って機器を揃え、時間外労働で睡眠時間を削って自宅でバカバカしく電子資料(パワーポイントなど)作成してます

49, 発言を促している。

50, できるだけ黒板全体が見えるように、黒板の字を大きくする。パワポで教材提示など。

51, 配布プリントは撮影してロイロで配信。電子ペンで作品を描き、提出してもらって教室でシェアしたこともあります。

52, 見本を黒板に貼る前にカメラ前に提示してから貼っています

53, ロイロノートとオンラインを併用し、データで資料を送ったり、子どもとやりとりをしています。

54, なるべく置き去りにしないよう、呼びかけや指名している。

55, とことんやろうと思えばできる先生はできるが、そうすると全体で差が出るのでこれぐらいでやっていこうという共有を定期的に行なっている。

6. ハイブリッド授業に対する思いをお聞かせください。ex.一番困っていることなど

1, 体育、図工など技術系の学習はやりにくい。また、不登校気味の児童がこの授業をすることでますます学校に足が向かなくなった。目の前にいる子、リモート上の子どちらにも目を向けるのは正直厳しい。

2, 無意味

3, 今まで対面の子ども達のための授業を作ってきたのに、いきなりオンラインと対面の双方向に対応する授業を毎時間作れと言われても無理がある。そして、普通の業務でも多くてパンクしていて、減らして欲しいと嘆いているのに、オンラインの子にも気を回す余裕なんてあるはずがない。

4, やめて欲しい。目の前の子どもたちを優先してあげたい。市長が視察に行った学校は建前上良い報告をしているかもしれないが、多くの現場は混乱、不安、負担でいっぱいであることを理解して欲しい。タブレットがあるからと無限の仕事。何かを削る政策を。

4, 3に記載

5, 現場教師の意見を聞いてほしい。またそれは、管理職や教務などではなく、実際に授業を行っている担任に聞き、要望を実現させてほしい。

6, 見通しの無い丸投げは困ります。

7, 教室にいる子ども同等の質を求められるのは困る。

8, 疲れます。

9, 授業準備が今までより時間がかかる。評価をどうするのが心配。

10, 教師の負担が大きすぎる。いつもの教材研究にプラスでオンライン用に準備が必要になってくると感じている。

11, 学びを止めてはいけないのは分かるが、オンラインを受ける側の線引きなど、もう少し細かいところをそろえてほしいと思う。(オンラインを受ける目的) 学校裁量ではばらつきがあるので、上がある程度の形をおろしてきて、それぞれの学校が取り組めるようにしてほしい。

12, 英語専科の先生に答えてもらいました。①急にオンラインやることになったのに戸惑った。するなら、もっと早くおろして欲しい。決めるの遅い。②【授業全てオンライン】という最低ラインがハードル高いので、現場の自由度がもっと欲しい。

13, 市長のツイートから始まり、校長会での発言を禁じられ、やらされることになった感じから始まっているので、本当に枚方市長、市教委にはがっかりしている。やらされているだけなのに、ブログの写真はやってる感を出す為に、いいところだけ写真を撮られて、ブログに上げられている。今回、心の底から、わたしたち教員の肖像権も人権も何も無い感じがしてやる気をなくしています。さらに、校長の写真を撮り方がひどく、子どもの肖像権も危ぶまれていて、先日、それを守れなくてつらくて、本当に職場に行きたくないです。子どもや保護者との関係もかなり頑張っているのに、校長の軽率な行動でクラスもつぶされたくないです。オンライン、ハイブリッド授業とは離れたかもしれませんが、インターネットさえなければ、写真をブログにあげることもないし、校長がカメラを持ってウロウロすることもない。双方向で動画と音声のやりとりができなければ、オンライン授業をすることもない。技術の進歩に嫌気がさします。上記にも書いたように、教頭と学年主任には 相談して、教頭から話があっただけで校長本人からは直接話も謝罪もありません。昨年度のクラスでも、女子児童から校長のことで相談を受けています。こういったことが、初めてではなくて、本当に嫌なんですけど、相談先は組合でいいんでしょうか？どこか話せるところがあったら話したいんですが。西牧野小

14, 設備も揃わない中での急な開始はどうかと思う。学校での取り組みの差があるのではないかと思う。委員会はその把握をするべきだ。

15, 教室用とオンライン用の授業を同時にするのは無理です。(今は、どちらも妥協したような授業におさまっています。)本来やりたいようにしようとすると、2倍働いていることになります。どちらかに統一するか、オンライン授業をする先生の人数を確保してほしいです。

16, 登校せず、オンライン授業にしている子どもが、放課後や休日は人の多いところで遊んでいる話もよく聞くので、オンライン授業の本来の目的からずれ、先生方の負担が倍増しているだけのように感じます。

17, 三脚が欲しいです。

18, , 具体定期的な方針がなく、現場の教師の技量にすべてを丸投げしていることが問題。「学びをとめません」など、聞こえのいいアピールだけして現場にしわ寄せが来ている。

20, やるなら機器を揃えてほしい。人をよこしてほしい。

21, 学校の価値、教育の値打ちを語り合いたい。

22, 突然の決定は許せない 上の人たちは足し算、引き算ができないのか？業務を足すだけで、引くこと【減らすこと】が全くない 教師がストライキなどできないことをいいことにやりたい放題で本当につらい

23, ・ハイブリッド授業・オンライン授業に対して、否定的な声を少なからず聞くが、『できない。』というのではなく、『どうやったらできるのか。』という建設的に考えるべきではないか。学校のあり方が変わりつつあることを踏まえて、それに合わせて学校づくりが必要。

24, オンラインでは時間数カウントできないということならそもそも授業として成り立たないということではないでしょうか。導入するにあたって、もうちょっと考える時間が欲しかった。オンラインだけでも時間数として認めるようにしてほしい。

25, 人員配置もないまま、ハイブリッド授業を行うことで、行き届かない部分が多くある。Meet の不具合も多く、その対応にも手を取られている。

26, 配信用の端末やロイノートなど、電子機器が一人一人にあることで臨時休校の際など課題は送りやすくなったが、電子機器の活用方法のレベルが児童によって異なることや、保護者も分からないとなると、クラス人数分の対応が増えてしまう。また学び合いという観点では、オンライン上の方が発言しにくいと感じている子が多いため、意見交流は難しいと感じる。

27, 学校で仲間と共に学ぶことの大切さを授業で教えてきました。これでも授業が受けることができる制度を出すと、こちらが行おうとしている授業ができず、結局これまでと同じ「教え込み」の授業になり、学校に来ている生徒が退屈そうにしているのが残念で仕方ないです。

コロナなので仕方ないと思うが、それならそれでやり方などの方法を検証して現場におろして欲しかったです。

始業式の前日に突然おりてきて、各教室に配信用のタブレットを準備したり、ICT の活用が苦手な先生はとても困っていました。

自分は ICT 関係の分掌に所属しており、不備や機械の故障があれば対応することの毎日です。自分の授業の教材研究よりも、配信環境を整えることや家庭で授業を受けている生徒の過度な要求や問題解決に時間を費やしています。

28, 教師の負担が多くなりすぎ。タブレット加配など各校 1 名配置するなど。してほしい。三脚もない。全ての準備ができてから、ハイブリッド型授業をするなら、納得できるが、ツールがまだまだ揃ってなさすぎ。人員配置もしてほしい。マンパワーが足りなさすぎ。

29, 機材が足りない。

30, 既に上記。

31, 授業や学校に来ている子どもの対応に集中できない。職員室にいる先生方も電話対応で手を取られている。長くオンラインと併用し続けることは難しい。緊急事態宣言の間ずっと続くのは、子どもにもストレスだと思います。コミュニケーションがうまくいかない タイムラグがある 通信が遅い 生徒の分からない所を見過ごしてしまう可能性がある

32, 始業式の前日に、保護者と同時に知らされ、準備期間も人手もなく、突然ハイブリッド授業を強いられてしんどい思いをしている。教育委員会の一方的なやり方にはとても腹がたっているし、驚きしかない。しっかりとルールを決めて、先を見据えてスタートさせないと、不登校を助長することになったり、保護者との信頼関係を悪化させたりすることに繋がりがかねない。そもそもは、9 月 12 日までとなっていたが、結局この先も続くことになりそうで、全く納得がいかない。枚方で働く気がなくなる。

33, 手間がかかります。対面での授業が一番です。

34, 一番腹が立つのは、現場の教師でさえやったことも見たこともないハイブリッド型授業が「出来る」と、市民に呟いた市長。しかも、始業式直前。

現場を混乱に陥れたことや、現場を無視し、教師をロボットのように扱う人に、教育に関わられることに嫌悪感を覚える。

さらに、その呟きに追随するように、見栄を張るかのように、ものすごくレベルの高いハイブリッド型授業の例を提示してきた市教委にも物申したい。

保護者の期待を上げておいて、そんな授業が突然出来るわけもなく、苦情が来たら混乱するのは現場。保護者との信頼関係が悪くなった場合、責任は取ってくれるのか。

現場では、教師側の人員も厳しい学校、厳しい日もある。ハイブリッドは、9月30日までにしてほしい。皆、疲弊している。倒れても自己責任というならば、あまりにもひどい話。

35, お試しや、体調不良で休んだ時に、オンラインは必要ないと思う。負担が半端ない。教職員の心の健康を考えてほしい。

36, やめてほしい。

37, 体育なので、実技を行なっている様子を配信したいけれど大きく広がったり移動した時に映る範囲などが変わってしまうこと。またそれを配慮しようとタブレットに気を取られると対面が少し疎かになること。

38, リアル授業で手一杯なので、リモートの生徒には配信しているだけになることが多い。本当に授業内容を保証するなら、TT する必要があります。教育現場に人を増やしてください。

39, オンライン授業も授業時数として数えるべき

40, たくさんの生徒が休むと、クラス経営が成り立たなくなるのではないかと思う。またずっと自宅で授業を受けている生徒が登校再開になった時に、しんどくならないか心配。

41, もう、煩わしいのでいりません

42, 対面なら対面、オンラインならオンラインに統一して欲しい。どっちもやるのは、メリットが生徒側にも教員側にもあまりない。

43, 何の前触れもなくいきなり始まるのは困る。せめて現場に準備する時間を。

44, 安易な欠席につながる

45, 家で学習している生徒にも授業を伝えることはできるが、表情が見れないため反応がわからない。予備校の授業を見て、学べる児童は一握り。何の工夫もなく、授業見せてるだけで学力保証ができるなんてありえない。ただのアリバイ作りだけ。

46, 負担でしかないので、外部に委託したらいいと思います。業務が増えた。

47, ハイブリッド授業というより、そもそも現場を無視した見切り発車でハイブリッド授業やりますといきなり言うのはやめて欲しい。子どもたちのタブレットの状態(2年目のため新しく買い換える時期にきている)、学校の体制、きまりなどの環境づくり、話し合いを重ねた上で実施して欲しい。

48, 突然の発表すぎてどう対応するかもしっかり決められないままスタートしたこと。保護者からの学校への不信感にもつながるところ。

49, 現場よりも先に保護者に伝達されてしまったこと。

50, ハイブリッド授業がいつまで続くのか。自分の今の力では、限界を感じている。もうハイブリッド授業はずっと続くものだと考えて、学ばないといけないと感じるが、そこまでの気力が今は出てきていない。

51, タブレットやオンラインばかり先行して、少人数学級や、教育課程の見直しなどが置いて行かれていることが気になります

52, 効率的にはハイブリッド型は悪いと感じます。全員が対面式かオンラインにする方が教師はやりやすいと思います。集団での活動から学ぶ事が多い小学校では対面式が良いと思います。

53, 結局、どっち付かずの授業になる

54, オンライン、目の前の児童、どちらにも対応しなければならないのが、1番困った。

55, ・実技教科なので、製作・実習ができず、カリキュラムを変更せざるを得ない。

・プリント資料など大量に机の中に溜まっていますが、テストも近付きどうするのでしょうか？本校は、今のところ、下校時間後取りに来るか、オンライン終了後の登校で持ち帰りとなっています。

56, 保護者からよその家庭の小さい子供の声がうるさいと言われた。

57, 市教委は、暴風雨警報や洪水警報などで休校になっても、オンライン授業をしなさいと言ってること。

58, 早くやめてほしい、学力低下が心配。

59, 親も困っている。何が正しいか誰もわからない。だから協力しあわないといけない。保護者と学校は頑張って繋がっているのに、委員会と学校も繋がってほしい。

60, オンライン学習の児童への課題作成や授業準備

61, 全授業がハイブリッドに向いているとは思えない。テンポ良いやりとり、相談、交流、つぶやきを拾うのにオンライン生は不利。ケンカしたり折り合いつけたりの社会性も養えるかは疑問。長期オンライン生はオンライン専用のプログラムにつなぐ、など予め表明か契約のような形にした方がいいのではないか？ 寝坊してもオンラインがあるから、と安易な気持ちで育ててしまうリスクもある。逆に、家でも気が休まらない等、余計しんどくなる児童もいると思う。画面越しにしか人と対峙できない人間を量産する懸念もある。オンラインはあくまでもやむを得ない事情が終結するまで、の手段であってほしい。

62, 4で答えたような思いはあるが、やはりクラスの児童みんなと、同じ時間、場所を過ごしたい。

63, オンラインによって、学校に行かないというハードルが良くも悪くも下がりました。家庭的な課題のある子や、学力のしんどい子への対応ができず、生活や学習のリズムが乱れてしまっている子も多いです。細かなことをなにも考えず現場に丸投げで、ただやっています感だけアピールされても、結局困るのは教師、そして子どもです。

64, ハイブリッド授業は、学びの保障と言いながら、実際育てたい力はついていかない。やはり、人は人とかかわって得るものがあるということを前提にすること、そして、安易に「ハイブリッド授業」が効果的ですから、不安な人は利用してくださいと言わないでほしい。

65, オンライン参加児童が5人と少なく、教室で話し合う時間は、オンライン内で話し合せているが、人数が多いと難しいと思う。体育や図工など技能系の授業は見学になるので評価ができない。

66, とにかく急すぎる勝手な Twitter 投稿の市長に怒りしか感じない。委員会も現場も混乱したのに、これだけの負担をかけていることを本当にわかっているのか。教師も1人の人間で、どれだけの労力と精神的疲労があるかちゃんとわかっているなら、普段からやらなくてもいいプラスαの他の業務を削減するなどもっと考えてほしいです。教師一人ひとりにも家庭や人権があります。